

令和2年第5回能登町議会7月会議 会議日程表

7月21日（1日間）

日程	月 日	曜	開 議 時 刻	会 議 ・ 休 会 そ の 他	
第 1 日	7 月 21 日	火	午後2時00分	本会議	開 会 会 議 録 署 名 議 員 の 指 名 諸 般 の 報 告 議 案 上 程 提 案 理 由 の 説 明 質 疑 ・ 討 論 ・ 採 決 閉 会

開 会（午後 2 時 0 0 分）

開 議

議長（河田信彰）

会議に入る前に、九州地方及び中部地方を中心とした 7 月豪雨により被災されました方々に対し、謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

それでは、ただいまから、令和 2 年第 5 回能登町議会 7 月会議を開会します。

ただいまの出席議員数は、14 人で定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

なお、本 7 月会議の会議期間は、会議日程表のとおり本日 1 日といたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

あらかじめ、本日の会議時間を延長しておきます。

会議録署名議員の指名

議長（河田信彰）

日程第 1、「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 122 条の規定によって、

2 番 堂前 利昭 君、

3 番 馬場 等 君を

指名いたします。

諸般の報告

議長（河田信彰）

日程第 2、「諸般の報告」を行います。

地方自治法第 121 条第 1 項の規定により、説明のため議場に出席を求めた者の職氏名は、お手元に配付のとおりであります。

次に、本日の会議に町長より別冊配付のとおり、議案 1 件が提出されておりますので、ご了承願います。

これで、諸般の報告を終わります。

議案上程

議長（河田信彰）

日程第3、議案第70号「令和2年度能登町一般会計補正予算（第3号）」の1件を議題とします。

提案理由の説明

議長（河田信彰）

町長から提案理由の説明を求めます。

町長 持木一茂君。

町長（持木一茂）

本日ここに、令和2年第5回能登町議会7月会議の開会に当たり、提案いたしております議案の提案理由をご説明する前に、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、7月3日から日本付近に停滞した梅雨前線の影響による記録的な豪雨で、九州を中心に岐阜、長野など、全国の広い範囲で河川の氾濫や土砂災害により甚大な被害がもたらされました。

令和2年7月豪雨により、尊い命を落とされた多くの方々のご遺族に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災されました方々に対しまして、謹んでお見舞いを申し上げます。

被災地の復旧が一日も早く進むことを願っております。

さて、国で示されております新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針により、外出の自粛、イベント等の開催制限、施設の使用制限が段階的に緩和されています。6月19日には県をまたぐ移動も解除され、新たな生活様式の下、少しずつではありますが活気が戻りつつあると感じております。

6月20日には、延期となっていました町制施行15周年記念式典を挙行することができました。ご多忙の中、山口県議をはじめ、町議会議員の皆様、多くのご来賓の方々にご出席をいただくとともに、心温まるお祝いの言葉を頂戴し、誠にありがとうございました。

また、町顕彰条例表彰及び自治功労者表彰を受賞された方々には、長年にわたり各分野で町政の振興に貢献され、町の伸展に多大なる貢献を賜り、改めて感謝申し上げます。

15年という一つの節目を迎え、町の基本目標である「人をつなぎ、地域をつなぎ、未来（あす）へつなぐまちづくり」をさらに力強く推進すべく、決意を固くするものであります。

同日には、のと九十九湾観光交流センター「イカの駅つくモール」がオープンし、連日、多くの来場者でにぎわっております。町の新たな観光資源の核と

して、多くの人が集う施設となるよう期待しております。

また、延期としておりました長野県信濃町との姉妹都市締結調印式を8月7日に挙げる予定としております。当日は、姉妹都市の千葉県流山市、宮崎県小林市の両市長にインターネットを利用し、リモートでご臨席していただき、盟約書調印に立ち会っていただく予定であり、今後、姉妹都市として交流が進み、互いに地域の活性化につながられるものと思っております。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染状況は、7月に入り、東京都での感染者が増加し、全国でも一部の地域で感染者が増えつつある状況となっております。

当町での感染者は、引き続き確認されていない状況ではありますが、引き続き感染症拡大防止に努めつつ、経済活動を回復し、地域の活性化を図る必要があります。

今回、新型コロナウイルス対策の取組を支援する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が国の第2次補正予算で追加されました。この地方創生臨時交付金を活用し、引き続き切れ目のない感染症対策を、気を緩めることなく実施するため、感染拡大の防止や事業継続等の取組に加え、新しい生活様式に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

議員各位におかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

それでは、本日提案いたしました議案1件につきまして、その大要をご説明いたします。

議案第70号は、一般会計予算の補正であります。

今回の補正の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策のため、国の第2次補正予算の成立を受けて、地方創生臨時交付金を活用した事業のほか、児童福祉施設や学校施設の感染拡大防止対策等の追加であります。

議案第70号「令和2年度能登町一般会計補正予算（第3号）」は、5億5,830万8,000円を追加して、予算総額を182億8,642万6,000円とするものです。

歳出からご説明いたします。

第2款「総務費」は、1,788万4,000円の追加です。

第1項「総務管理費」、第9目「地域振興費」では、まちづくり合宿等助成金を期間限定で上乗せし、スポーツ合宿や教育旅行の利用促進を図ります。

第17目「諸費」では、長野県信濃町との姉妹都市締結調印式及び祝賀会に係る所要経費を追加しております。

第18目「新型コロナウイルス感染症対策費」では、「感染拡大防止事業」として、役場庁舎カウンターのアクリル板設置費用などを追加しました。

「特別定額給付金事業」では、特別定額給付金の基準日の翌日以降に生まれた子を対象とし、保護者の経済的負担の軽減を図るため、うぶごえ特別定額給付金を追加しました。

「関係人口創出事業」は、当町の強みを生かして、都市部企業をターゲットにした人材育成プログラムの作成やワーケーションの受入れ調査を実施し、関係人口の創出と将来的なサテライトオフィス誘致につなげるものです。

第3款「民生費」は、2,301万2,000円の追加です。

第1項「社会福祉費」、第1目「社会福祉総務費」及び第4目「老人福祉費」では、健康福祉の郷「なごみ」と老人福祉施設、介護施設における感染拡大防止のため、非接触型体温計と空気清浄機の購入費を追加しました。

第2項「児童福祉費」、第1目「児童福祉総務費」では、国補正予算を受けて、学童保育と私立認定こども園の感染拡大防止に係る所要経費を計上しております。

第3目「児童福祉施設費」においても、国補正予算を受けて、感染拡大防止に係る所要経費を追加したほか、しらさぎ保育所のエアコン設置費を追加しております。

第4目「新型コロナウイルス感染症対策費」では、ゼロ歳から高校3年生の児童1人当たり1万円の商品券を配布した「のっこ子育て応援金支給事業」の対象児童を令和3年4月1日までの出生、転入とするための所要経費を追加しました。

また、「認定こども園等感染症防止対策事業」として、公立、私立の認定こども園や児童館の水道蛇口をセンサー式に改修する経費のほか、保育業務をICT化し、保育士の業務負担軽減や保護者の利便性向上、接触機会の低減等を図るためのシステム導入経費を追加しました。

第4款「衛生費」は、396万4,000円の追加です。

第1項「保健衛生費」、第4目「環境衛生費」において、斎場の感染拡大防止のため、火葬業務に携わる職員用防護服のほか、空気清浄機の購入費用を追加しております。

第6款「農林水産業費」は、258万円の追加です。

第1項「農業費」、第3目「農業振興費」は、農林産物総合センターの空調を空気清浄機能つきに改修する費用の追加です。

第3項「水産業費」、第2目「水産業振興費」では、県漁協能都支所、小木支所に対し、卸売市場の感染拡大防止に係る補助を追加しております。

第7款「商工費」は、3億4,820万5,000円の追加です。

第1項「商工費」、第3目「観光費」では、「観光振興対策事業」において、冬季の宿泊者数拡大を図るため、期間を限定して新たな宿泊費助成とレンタカ

一助成の上乗せを行うものです。

第4目「新型コロナウイルス感染症対策費」では、新型コロナウイルス感染症の影響により、冷え込んでいる地域経済を活性化するため、プレミアム付商品券を発行いたします。

今回の商品券は、プレミアム率20%の商品券に加え、プレミアム率100%の飲食券を発行いたします。購入に必要な引換券を町民全員に配布し、限度額内であれば必ず購入可能としますので、ぜひ商品券を活用して、地元での買物や飲食で地域の商店、飲食店を応援していただきたいと考えております。

また、「超能登町祭実施事業」は、コロナ禍からのV字回復の象徴として、2日間にわたるイベントを新しい生活様式などの感染予防対策をしっかりと講じながら実施するものです。イカす会で予定されていたギネス世界記録挑戦のほか、能登牛1頭丸焼きの振る舞い、能登牛バーベキュー、花火大会などを行い、多くの町民の皆さんの参加とご協力を賜りながら、一大イベントとなるべく準備を進めたいと考えております。

「観光誘客事業」では、ドローンを活用した新たな旅行体験プログラムの制作のほか、旅行代理店に向けて町内に宿泊する旅行商品の企画を促す補助を追加しました。

「観光施設魅力向上事業」では、町の観光施設に空気清浄機を設置するほか、さらなる観光誘客や情報発信へとつなげるため、イカの駅つくモールを全国に発信するシンボルとして、巨大なイカのモニュメント製作に係る所要経費を計上しております。

第9款「消防費」は、1,020万円の追加です。

第1項「消防費」、第4目「防災対策費」において、旧上町保育所を防災備蓄倉庫として活用するための改修費を追加しております。

第10款「教育費」は、1億5,246万3,000円の追加です。

第1項「教育総務費」、第3目「学校教育費」では、学校教育総務費において、校内消毒に係る経費や空気清浄機購入費のほか、放課後に校内の消毒作業をシルバー人材センターに委託する経費を追加しました。

「学校保健特別対策事業」は、国補正予算の成立を受け、学校再開における感染症対策の経費が補助対象となりますので、所要経費を計上しております。

第2項「小学校費」、第1目「小学校管理費」では、国補正予算の成立を受け、各学校にスクール・サポート・スタッフを配置し、教員の負担軽減を図るものです。

第2目「小学校教育振興費」では、3密対策と学びの保障対策として、社会科、理科、音楽のデジタル教科書購入費を追加しました。

第3目「学校建設費」は、コロナ対策としてのマスク着用など、児童生徒の

熱中症リスクが高まることを受け、特別教室である図書室、理科室の空調設備整備費を追加しました。

第3項「中学校費」、第1目「中学校管理費」は、小学校費と同じくスクール・サポート・スタッフを配置するものです。

第3目「学校建設費」においても、小学校費と同じく、特別教室の空調設備整備を行います。

第4項「社会教育費」、第1目「社会教育総務費」では、満天星、真脇遺跡縄文館の感染対策に要する所要経費を追加しました。

第3目「公民館費」は、公民館における感染対策費の追加のほか、利用頻度の高いホールや和室などの空調設備整備費の追加です。

第4目「図書館費」では、図書館の感染症対策費のほか、書籍消毒機と新たな図書の購入費を追加しました。

第5項「保健体育費」、第3目「学校給食費」は、宇出津小学校ランチルームの空調設備整備費を追加しております。

以上、5億5,830万8,000円の財源として、歳入に第14款「国庫支出金」、第15款「県支出金」、第18款「繰入金」、第20款「諸収入」を追加し、第21款「町債」を減額して収支の均衡を図りましたので、よろしくお願いたします。

以上、本7月会議に提出いたしました議案につき、その大要をご説明申し上げましたが、議員各位におかれましては、慎重なるご審議をいただきまして、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明を終わらせていただきます。

どうかよろしくお願い申し上げます。

議長（河田信彰）

以上で提案理由の説明が終わりました。

質 疑

議長（河田信彰）

ただいま議題となりました議案第70号の1件の審議方法についてお諮りします。

議案第70号の1件の審議方法は、全体審議といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（河田信彰）

異議なしと認めます。

したがって、議案第70号の1件は、全体審議とすることに決定しました。

これから質疑を行います。

質疑は大綱的な内容でお願いします。

質疑はありませんか。

1番 吉田義法君。

1番（吉田義法）

全員協議会でも質問させていただきましたけれども、同じような質問を再度させていただきます。

説明資料3ページ、ナンバー29、7款1項4目「プレミアム商品券事業」について。

この事業につきましては、町民全員を対象としたプレミアム商品券ということで、今までの商品券とは違って大変大がかりで、費用もたくさんかかっている商品券事業になります。大変思い切った事業でよいことかなというふうに思いますが、販売窓口について、商工会内浦支所、柳田支所、そのほかに郵便局8か所というふうになっておりますが、こちらの業務委託料のほうがかかると思いますので、商工会はともかくとして、郵便局のほうは各総合支所、そして支所等で一部対応できるのじゃないかなというふうに思いますが、どのようにお考えでしょうか。

議長（河田信彰）

町参事兼ふるさと振興課長 田代信夫君。

町参事兼ふるさと振興課長（田代信夫）

能登町プレミアム付商品券事業で、まずは全町民に購入できるような商品券としております。公平性を保つためにはそのほうがよろしいかということであります。

それから、販売窓口につきましては、当初この商品券事業を行うに当たり、町の商工会と協議をいたしまして、プレミアムつきの商品券を町で行いたい。その場合には、全券、商工会に委託をしまして行いたいという協議をした結果、商工会におかれましてもコロナ感染症対策の業務、地域経済の業務等で人的にも不足をしているというものでありました。そういうことから、今回につきましてはこの商品券の、まず券の印刷、それから販売についても本来であれば3

か所の商工会で全て委託する予定にはしていましたが、全協でもお話ししましたように、コロナ対策による3密回避と、それから町民の方々の利便性を図るために郵便局と協議もいたしまして、8つの郵便局にも販売窓口とさせていただく。

そのときの協議であります。郵便局、全国の郵便局がこのような商品券の販売の委託業務を現在承っておるということでもあります。能登町だけでなく、全国的にこの商品券の販売の委託、1券、1冊につき50円という形で郵便局のほうから提示がありました。

町のほうでは、その引換券を購入された方の名簿は記入する必要はないものですから、本来59円のを50円で業務委託をしたいということでありましたので、この8つの郵便局を金沢支社の方々と協議をしまして販売の箇所を増やしたということでもありますので、ご理解願います。

議長（河田信彰）

1番 吉田義法君。

1番（吉田義法）

説明のほうはある程度理解できますが、やはり費用がかかりますので、できるだけ抑えるようなことを考えていただければよかったんじゃないかなというふうに思います。

町民の方には、広くたくさんの方に販売窓口があると便利なことは分かります。郵便局の中で、例えば能登町で指定管理を行っているような施設が代わりに販売できるような場所もあるので、そういったところでもよかったんじゃないかなと私は思います。なぜかという、コロナの影響で公社は大変収入が減っておりますし、私が公社の人間であればこういった仕事があるのなら欲しい、そう思います。

そういったことは考えられなかったのでしょうか。

議長（河田信彰）

町参事兼ふるさと振興課長 田代信夫君。

町参事兼ふるさと振興課長（田代信夫）

公社に販売の委託ができなかったかということですよ。

ふれあい公社と町につきましては、それぞれの公の施設の業務を委託契約して、管理者としてやっておる。それぞれの指定管理をする業務内容に基づきまして契約をしておりますので、今回の商品券の販売委託につきましては指定管

理業務の中には入っておりませんので、また性質上、違うのかなと思いますのでご理解願います。

議長（河田信彰）

1 番 吉田義法君。

1 番（吉田義法）

公社と町の業務委託について、そういったものが入ってないと。それは分かりますが、協議すれば済むことであって、なぜ収入がないような、そういう指定管理に出している事業所があるのに、そこへ持っていかなかったのかなというのは疑問であります。そういった仕事を公社のほうが、これだけのお金をもらっても手間がかかるだけで足しにならないということであればしようがないことでもありますけれども、話しして相談してみるのもよかったんじゃないかなというふうに思います。

町長は社長でもありますね。どう思われますか。

議長（河田信彰）

町長 持木一茂君。

町長（持木一茂）

今回の商品券の発売日というのは、9月、10月ということであります。そのときには公社は全館オープンしておりまして、従業員もそれなりに忙しい毎日を送ることになると思います。これが例えば4月、5月の販売であれば公社の宿泊施設も休業状態でしたので、人員的には余裕があったかもしれませんが、9月、10月は全館オープンですので、人員的な余裕がないということもあります。それと同時に、例えば今回の郵便局ですと、瑞穂郵便局が入ってます。瑞穂地区には公社が委託を受けているような施設もありませんので、瑞穂の方にとってはより遠くなるのかなという気もしますので、やはり郵便局のほうが地元に着したきめ細かな地域割りができると考えますので、郵便局のほうがよかったのかなというふうに考えております。

議長（河田信彰）

1 番 吉田義法君。3回までとなっておりますので、最後にしてください。

1 番（吉田義法）

違う質問ならいいんですか。

議長（河田信彰）

そういうことではありません。3回までとなっております。

それともう一つ、よろしいですか。

「議員は、質疑に当たっては、自己の意見を述べることができない。」となっておりますので、それをご了承願ってお話ししてください。

1 番（吉田義法）

私は、全部の郵便局を公社に変えろと言ったわけではありません。もちろん、郵便局のほうが便利なところもあります。一度、町長は自分のお考えであって、公社のほうには確認していないんじゃないかなというふうに思います。

この質問については以上で終わります。

議長（河田信彰）

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（河田信彰）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

討 論

議長（河田信彰）

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（河田信彰）

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

採 決

議長（河田信彰）

これから採決を行います。

お諮りします。

議案第70号「令和2年度能登町一般会計補正予算（第3号）」の1件は、原案のとおり決定することに賛成する諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（河田信彰）

ありがとうございました。起立全員であります。

したがって、議案第70号の1件は、原案のとおり可決されました。

以上で、本7月会議に付議されました議件は全部終了しました。

閉会の挨拶

議長（河田信彰）

町長から発言を求められておりますので、これを許します。

町長 持木一茂君。

町長（持木一茂）

本日の会議を閉会されるに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

議員の皆様には、今回提出いたしました議案に対し、慎重なるご審議を賜り、原案どおり可決をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

さて、国内での新型コロナウイルス感染症の拡大により、中学生、高校生の全国大会が相次いで中止となっておりますが、そのような中で先日より各地域でそれぞれの代替大会が開催されています。今月5日の石川県アーチェリー高校大会では、能登高等学校が男女団体及び個人で優勝し、また11日より始まった石川県高等学校野球大会でも同校が登場し、敗れはしましたが、最後まで白球を追いかけ、悔いのない全員野球をしてくれました。代替大会があるなしにかかわらず、これまで一生懸命練習に頑張ってきたその経験は必ず将来の自分たちの財産となりますので、明るい未来に向かって前進してほしいと思います。

また、先月、グランドオープンいたしましたイカの駅つくモールは、連日たくさんの方にご来場いただき、にぎわいを見せており、地元の方や観光客を問わず、楽しんでいただいております。また、来月7日には延期していました長野県信濃町との姉妹都市締結調印式を役場「里山ホール」で執り行う予定にしております。

アメリカの宇宙飛行士で、アポロ有人月面着陸やスペースシャトルなど計6度の宇宙飛行ミッションを行ったジョン・ヤングの残した言葉に、「変えるにはリスクが伴う。変えなければもっと大きなリスクが伴う。」というものがあります。何事にも変化するためにはある程度のリスクは付き物であり、勇気を出さずに流れるままであれば後に大きな代償を払うことになるということを伝えるための言葉です。

新型コロナウイルス感染症がもたらした困難に立ち向かうために、新しい社会に挑戦することへのリスクにためらわず、知恵を出し合い、一致団結して前進してまいりますので、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

散 会

議長（河田信彰）

ここで、確認のため申し上げます。

さきの定例会議の休会決議で、明日から9月定例会議の定例日の前日までを休会とすることに決定しておりますことをご了承願って、本日はこれもちまして散会いたします。

一同起立。礼。

ご苦労さまでした。

散 会（午後2時35分）

上記、会議の経過を記載し相違ないことを証するため、個々に署名する。

令和2年7月21日

能登町議会議長 河田 信 彰

会議録署名議員 堂 前 利 昭

会議録署名議員 馬 場 等